

マナーを打破し 更に前進を!

通院介護センター「さわやか」は、平成8年10月1日にまた、小倉事業所は平成9年1月1日に設立しました。双方とも開業して3年を過ぎました。光陰矢の如しの諺がぴったり当てはまる思いです。最初はボランティアさん21名一カ月の送迎回数が30回という、今では考えられない数から出発しています。

それでも、全国で初めての通院介護事業として、全国の透析患者の大きな注目の的になりました。

北九州市で通院介護事業が設立されたと言ったことで、社団法人全国腎臓病協議会は、通院介護事業を法人の事業計画にあげ、現在、全国各地で通院介護事業の設立運動を展開しています。

全国で15団体17事業所が設立され(平成11年10月現在)活動をしています。

昨年10月には、同じ福岡協の中で「ステップ福岡」が誕生し、素晴らしい活動をしています。

全国17事業所の中で、行政からの資金助成をうけて運営している事業所は、佐賀の「ふれあい佐賀」「ふれあい唐津」と、私たち「さわやか」の八幡・小倉の両事業所のみです。

「さわやか」が特別なトラブルもなく、順調に推移してこられたのは、ひとえに、ボランティアの皆様が努力の賜物と感謝しています。

また、行政からの支援も大きな支えになっていることは言うまでもありません。

百二十名のボランティアさんを要している事業所は他に例を言わないのではないでしょうか。

さて、設立から三年以上経過すると、そろそろマンネリ化現象が起きてくる時期に入ります。

毎日何のトラブルもなく淡々と過ぎて行くと、それがマンネリの基になり進歩がなくなります。

「さわやか」では、マンネリ打破のために、更なる発展を目標にして活動をしてゆく覚悟です。

通院送迎の事業は「さわやか」の原点ですので、変えることは出来ませんが、ボランティア研修交流会や事務局の事務の合理化、新しいアイデアなど、変化と前進を求めて活動に邁進する計画です。

ボランティアの皆様へ今年も宜しくお願い致します。

【新人紹介】

気軽に声をかけて

「さわやか」事務局員

高原 由美

「さわやか」の皆様こんにちは。一月にはいりまだまだ寒い日が続いていますが皆さんいかがお過ごしでしょうか？

私は一月より退職される村山さんの後任で「さわやか」に入りました高原由美と申します。ちなみに、30歳になります。たばかりの山羊座のO型です。まだまだなれない事はありますが、まず私の最初の仕事は患者さんの名前とボランティアさんの名前と顔を覚えることです。努力して頑張りましょう。

【退職】

充実した三年間

「さわやか」事務局員

村山 真紀子

ボランティアの皆様、そして利用されている患者の皆様へ今までお世話になり本当にありがとうございました。

一年程前から左目の具合が悪く病院にかかっていました

が、一向に良くなりならず、右目に負担をかけたくないため、この度「さわやか」のパートを辞めることになりました。

この三年間はお蔭様で、とても充実していました。春と秋のボランティア交流会や勉強会は楽しかった思い出です。でも一番の思い出はボランティアの皆様がやさしさです。雨の日や雪の日、また朝早くから、一向に良くなりならず、右目に負担をかけたくないため、この度「さわやか」のパートを辞めることになりました。

この三年間はお蔭様で、とても充実していました。春と秋のボランティア交流会や勉強会は楽しかった思い出です。でも一番の思い出はボランティアの皆様がやさしさです。雨の日や雪の日、また朝早くから、一向に良くなりならず、右目に負担をかけたくないため、この度「さわやか」のパートを辞めることになりました。

この三年間はお蔭様で、とても充実していました。春と秋のボランティア交流会や勉強会は楽しかった思い出です。でも一番の思い出はボランティアの皆様がやさしさです。雨の日や雪の日、また朝早くから、一向に良くなりならず、右目に負担をかけたくないため、この度「さわやか」のパートを辞めることになりました。

「つぶやきカード」で 「意見を

一月二十五日のテレビで一週間早い梅の開花を放映していましたが、長引いた雨から雪になりました。

この様なお天気の時、自分の通院でさえ、出かけるのがいやになるのにボランティアの皆様は利用者の為に雨でも、少々の雪でも送迎をしてくださっています。感謝の気持ちで一杯です。

「さわやか」事務局も開設四年目になり気づかぬうちにマンネリ化しているのではないかと、今後ボランティアの皆様のご意見を広く採り入れ、通院介護のあり方・ボランティア研修会の充実等、一層の向上を目指しますのでボランティアの皆様、ご意見・ご要望を事務局までドンドンお寄せ下さい。

「つぶやきカード」を同封致しますので、お気軽につぶやいて下さい。お待ちしております。

